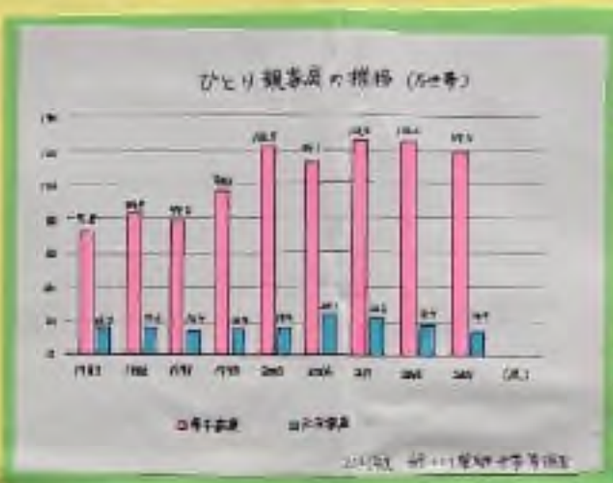
パパ限界突破!?

～未来を阻む見えない壁～

きっかけ

とあるシングル家庭の悩みが原因の事件を見たとき、「児童相談所が取り合ってくれなかった。」と言っていた。それを見て「もっと早く気軽に助けを求められる場所があれば」と思ったことがきっかけだ。

この事件からシングルファザーやシングルマザーに経済的な不安、孤独感、育児の不安、将来の心配を抱えている人がいると思う。そのため、今回シングル家庭の方が孤立せず、困った時に助けを求められる制度を統計を元に考えたい。

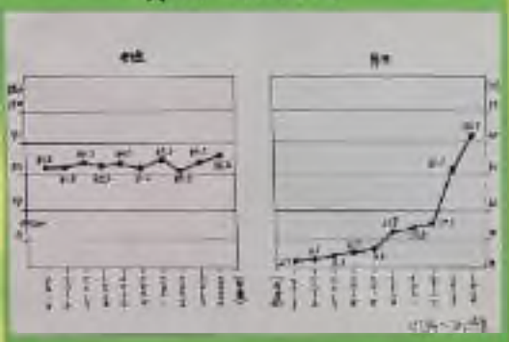


1983年から2021年まで変わらず母子家庭が多い

⇩

父子家庭に対する世間の認知度、理解度が低いのではないか

有休取得率

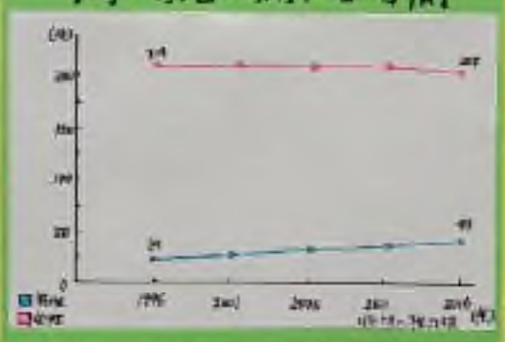


女性は2015年から有休取得率を80%程度に保っている。

男性は2015年の2.7%から2021年の40.5%まで大きく上昇しているが、有休消化率は女性の半分に満たない。

↳男性は仕事を休みにくい

家事・育児に関わる時間

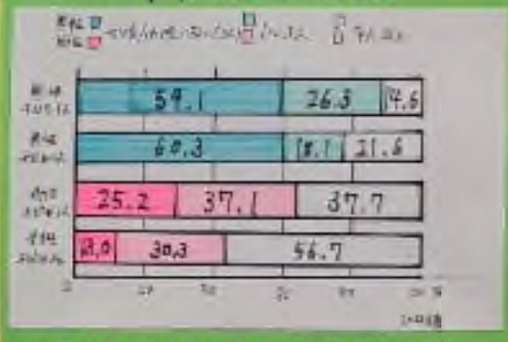


女性は1996年から2016年まで変わらず200分以上家事・育児に関わっている。

男性では1996年は24分、2016年は44分と家事・育児に関わる時間は増加しているしかし、関わる時間は女性の約1/5である

↳男性の家事・育児スキルは不足しやすい

パパ友ママ友数



子どもが1人いる女性は約74%、2人いる女性は約87%がママ友が1～4人以上いる。

子どもが2人いる女性の約60%の人がママ友が4人以上いる。

子どもが1人、2人いる40%のパパはパパ友が1～4人以上いる。

子どもが1人、2人いる約60%のパパはパパ友が0人である。

↳頼れる人が少ない。

☆オンラインワークショップを開催する

- 10分でできるカンタンご飯
- 子どもの体調不良の対応
- 家事を楽にする工夫
- 子どもの送迎

↳不足している知識、情報、スキルを補う

Point

- ワークショップのお知らせを学校で配布
- オンラインで参加のハードルを下げる
- オンライン匿名オープンチャットで同じ立場の仲間を増やす
- ワークショップの開催数を増やすことで情報にふれやすくなる
- アーカイブ動画でいつでも内容をふり返れる。

まとめ

一人親家庭の支援を充実させるには、一人親家庭の現状の認知度を上げることが必要だと分かった。

シングルの人々が孤立せず、助けを求められるように今から地域との繋がりを大切にしていきたいと考えた。